

固心院いくさ墓

― 入来麓史跡探訪（1）

入来麓武家屋敷群の中心部から直線距離にして六〇七メートル南南西のところにあります。生前に死後の七七忌までの供養をなすことを逆修または予修といいます。

ここにある多数の石塔はその大部分が戦国時代の入来院武士が出陣前に自分の予修塔として造立しもので、昔から「いくさ墓」と通称されてきました。

塔型は宝塔、宝篋印塔などが多く、領主塔も七つほど確認されています。この地に固心院の前身であった宗栄寺が創建されたのは十六世紀中葉の頃だと推定されます。

春時雨ざわめきを聞くいくさ墓 渡



固心院いくさ墓（薩摩川内市指定文化財）